

平成 30 年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

氏名	中村 歩	活動年数	1 年
活動目標	初年度は活動予算がつかなかったこともあり、課から与えられたミッションである SNS 使用した広報活動、および仁木町の取材、撮影をし、この仁木町を知ること人と繋がることを目標としました。		
活動内容	<p>夏からの一年間、果樹などの撮影に取り組み、仁木町観光協会さんの素材集に写真を提供いたしました。</p> <p>町内のイベントや景色などを facebook にアップし、町内外の方々に閲覧していただけるように努めました。</p> <p>また SNS による仁木町の広報活動として、Twitter での投稿を昨年 7 月より開始し、1 日 2 回の投稿を続けることにより、1 日の閲覧数が約 4000 件~10000 件 エンゲージメント率は常に 10 パーセントを超えることができました。仁木町、および後志地区のアカウントの稼働率としては一番高い数字をとっております。今後も地道に続けていくことにより、まずは北海道に仁木町という町があることを知ってもらい、仁木に来てみたい、という興味関心を町外の方々に持ってもらえるよう、仁木町の風景を発信し、直近では 7 月の横浜での写真展などで仁木町の PR 活動をしていきたいと思えます。また、新規就農者の方々や、新しいプロジェクトであるシャインマスカットなどの写真素材のアーカイブ化にも取り組みました。(これは現在も継続中につき、随時編集をしつつ素材を収集している最中です) 今後は新規就農の方々に密着した撮影を続けて印刷物や動画としてまとめ、仁木町の PR に努めてまいります。</p>		
自己評価	<p>●一年間の自己評価及び進捗状況</p> <p>前から関わりたかった果樹の一年をこの目でみることができ色々な果樹農家さんとお話する機会を得て、知識が加わりました。その経験を生かしパンフレットや印刷物などに関わる土台を築くことができました。</p> <p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況</p> <p>初年度は、家を維持、補修し、この地域になれることに努めました。やはり都市圏との往来が難しく、定住に向けていかにリモートワークを続けていけるかが今後の課題です。</p>		
抱負	協力隊としては仁木町にある素晴らしいものをいかに活用、発展、町内外に広めていけるか、に挑戦したいと考えております。		
その他			